

2006年度 鳥羽・志摩中学校総合体育大会 ソフトボール要項

- 1 日程 7月21日(金) 集合 8:30 開会式 9:00 試合開始 9:30
*予備日・・・22日(土), 23日(日)
- 2 会場 阿児ふるさと公園多目的広場
- 3 責任者 *競技責任者および会場責任者 : 石野 (安乗中)
*ベース・ラインカー・石灰・スコアボード・ハンドマイク・他 : 山本 (文岡中)
*会場準備 : 各中学校ソフトボール部顧問 1人 ※ 前日 16:00から行う
*会計および弁当・お茶・紙コップ : 林 (答志中)
- 4 ルール 本大会規定及び2006年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
- 5 大会規定
 - ① 競技方法はトーナメント方式とする。
 - ② ベンチ入り選手は18名とし、ベンチは若番を1塁側とする。
 - ③ 選手は1～18の背番号のついたユニフォームを着用する。ただし、やむを得ない場合は背番号のついた体操着でもよい。主将は10番、監督は30番、副顧問(コーチ)は31番、32番をつける。背番号がない場合のベンチ入りは認められない。
 - ④ 関係者のベンチ入りは3名までとする。できるかぎりユニフォームを着用する。外部指導者については、学校長が認め、登録をした場合に限る。ただし、1名とする。
 - ⑤ 得点差によるコールドゲームは、3回以降12点差、5回以降7点差以上るとき適用する。降雨の時は5回終了時点で試合成立。それ以前の場合は再試合とし、その判断は当該試合の専門部及び審判団で行う。
 - ⑥ 7回終了後同点の場合は、延長戦なしで8回からタイブレークを行う。
 - ⑦ シートノックは、後攻側から始めて5分以内とする。
 - ⑧ 打者、走者、次打者、コーチャーはヘルメットを着用する。
 - ⑨ 捕手はスロートガードつきマスク、ヘルメット、プロテクター、レガースを着用する。競技場内での投球練習においても、ヘルメット、マスクを着用する。
 - ⑩ 試合中は、ベンチ入り選手以外のグラウンド立ち入りは認めない。
 - ⑪ 試合中は、ベンチよりバックネット付近(後方も含む)での応援を禁止。
 - ⑫ 当該校関係者はバックネット裏への立ち入り禁止。
 - ⑬ 使用球はマルケン3号とする。(各試合各校2球ずつ抛出)

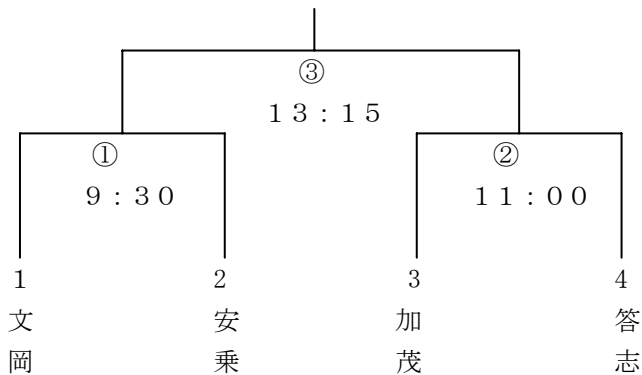
- ⑭ グラウンドルールは開会式後の監督・審判会議で決定する。
- ⑮ 大会運営においては、教育的配慮を最優先する。

6 その他

- ① 表彰は規定により準優勝までとする。
- ② 優秀選手は、1位5名、2位3名、残り各校1名（合計10名）とする。
- ③ 選手宣誓は、前年度優勝校の答志中学主将。同校は優勝旗を持参のこと。
- ④ 県大会への出場は、地区代表として1校。
- ⑤ 前の試合に勝ったチームでグラウンド整備を行う。
- ⑥ シートノック終了後、試合を行うチームでグラウンド整備を行う。
- ⑦ 事前に健康チェックをしておく。
- ⑧ ゴミは各自持ち帰り、処理の徹底をする。
- ⑨ 差し入れは、事前に断る。いただくことがあった場合は、学校に戻ってから飲食する。
- ⑩ 急病やけがは、救護の先生の手をかりて応急処置を施すが、連絡・移送については当該校顧問・引率者が責任を持って行う。

7 組み合わせ

- * 春季大会の結果により、鳥羽市1位チームと志摩市1位チームは別ブロックでのシードとする。



- * ③の試合開始時刻は②の試合後、45分あける。

8 審判 鳥羽・志摩ソフトボール協会審判部に（6名以上で）お願いする。